

令和4年度  
二宮町教育委員会  
点検及び評価報告書  
(令和3年度事業分)



令和4年9月  
二宮町教育委員会

# 目次

はじめに .....	1
令和3年度二宮町教育委員会基本方針 .....	2
教育委員会について .....	14
第1章 教育委員会の活動状況について .....	15
1 教育委員会議の運営状況	
2 学校訪問	
3 研修会	
4 その他の活動状況	
5 教育委員会議の公開	
6 教育委員会の活動状況、点検評価	
第2章 教育委員会における主要事業 .....	26
1 教育総務課の主要事業	
2 生涯学習課の主要事業	
3 主な事業の活動状況 点検評価	
第3章 外部評価（意見） .....	42
参考資料.....	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	
二宮町教育委員会点検及び評価実施規則	
二宮町教育委員会点検及び評価実施要領	

# はじめに

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会において毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定、「二宮町教育委員会点検及び評価実施規則」及び、「二宮町教育委員会点検及び評価実施要領」に基づき作成されたものです。

## 1 点検及び評価の趣旨

- (1) 教育委員会が管理及び執行する事業の取り組み状況について、点検及び評価を実施することにより、より効果的・効率的な教育行政の推進を図ります。
- (2) 毎年、点検及び評価を実施することで、変化する社会経済情勢に明確に対応するとともに、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用します。
- (3) 報告書を議会へ提出し、町民へ公表することにより、町民への説明責任を果たし、町民との信頼関係を保ちます。

## 2 点検及び評価の対象事業

令和 3 年度の事業を対象とし、大きく次の 2 区分とします。

- (1) 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況を「教育委員会の活動状況」とします。
- (2) 教育委員会が管理及び執行している事務事業並びに教育長に委任している事務のうち重点施策及び主たる取り組みを「教育委員会における主要事業」とします。

## 3 点検及び評価の方法

- (1) 教育委員会による点検及び評価  
対象となる事業の取り組み状況、成果、今後の改善点等をまとめます。
- (2) 外部による点検及び評価についての意見  
外部から見た検証・意見等を報告書の内容全般についてまとめます。

## 4 点検及び評価結果の公表等

点検評価終了後、その結果を取りまとめた報告書を二宮町議会に提出するとともに、報告書を町民へ公表します。

## 令和3年度二宮町教育委員会基本方針

教育は人格の形成をめざし、個性を尊重しつつ、自立した人間を育て、幸福な生涯を実現する上で不可欠なものです。情報化やグローバル化など社会が急激に変化する中、将来を担う子どもたちには、予測困難な変化に対し前向きに、主体的に向き合い、今まで以上に他と協調しながら、自らの考えで生涯を切り拓いていく生きる力が求められています。

平成27年10月に策定し、平成30年度に改定した「二宮町教育大綱」において、基本理念として掲げている、町民一人ひとりの「まちづくりの力」、「地域の力」を活かした「共に学び共に育つ教育」をさらに推進するため、児童生徒の「生きる力」を育むとともに、それを取り巻く教育環境の整備、生涯にわたる学習への支援などのさらなる充実を目指します。

学校教育については、新しい学習指導要領が令和2年度に小学校で実施され、令和3年度には中学校でも実施されることから、これを踏まえ、児童生徒一人に1台のタブレット端末を始め、これまでに整備した学習環境を最大限に活用するとともに、小中一貫教育導入のための研究などを通じた「主体的・対話的で深い学び」を実現し、子ども達が様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるよう取り組みを進めます。

また、生涯にわたり学習することのできる環境の整備と学習機会を提供し、町民一人ひとりが主人公となる生涯学習社会の実現に向けた生涯学習の推進に取り組めます。

いずれの教育活動においても、新型コロナウイルス感染症に対応するための「新しい生活様式」を取り入れ、状況に応じて各種活動の適時・適切な見直しを行うほか、教育施設の老朽化への対策も同時に進めることで、安全・安心な教育環境づくりにも取り組めます。

なお、施策の推進にあつては、二宮町総合戦略及び第5次二宮町総合計画後期基本計画と連携して取り組むこととします。

# 今年度の重点施策

## 1 学校教育（教育総務課）

### 1 児童生徒の「生きる力」の育成

#### （1）自ら学ぶ力を養うための教育の推進

- ① 言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進
- ② 英語教育の充実
- ③ ICT環境を活用した学びの充実

### 2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備

#### （1）支援が必要な児童生徒への対応の充実

- ① いじめ、不登校、ひきこもり等に対する体制の強化
- ② インクルーシブ教育・支援教育の充実

#### （2）教職員の働き方改革の推進

- ① 働く場としての環境整備
- ② 統合型校務支援システムの効果的な活用
- ③ 部活動ガイドラインに基づく部活動の充実

#### （3）教職員の指導力の向上

- ① 「教職員授業力向上研究事業」の推進
- ② 教育研究所における研修の充実

#### （4）児童生徒の学習環境の整備

- ① 長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修

### 3 将来に向けた特色ある学校づくりの推進

#### （1）小中一貫教育の推進

- ① 二宮町小中一貫教育校設置計画の策定
- ② 小中一貫教育カリキュラム研究の推進
- ③ かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施

#### （2）コミュニティ・スクール運営の促進

- ① 学校運営協議会の円滑な運営のための支援
- ② 地域との連携による児童生徒の活動の促進

### 4 学校教育に関する情報発信の強化

#### （1）学校ホームページや町ホームページ、広報紙等の積極的な活用

## **2 社会教育（生涯学習課）**

### **1 地域文化の向上**

（1）二宮の自然・歴史・文化に触れる機会の提供

- ① 文化芸術の振興・支援
- ② 多世代が集い、学習し交流拠点となる場としての生涯学習センター「ラディアン」及び図書館のあり方の検討

（2）図書館事業の推進

- ① 子育て世代と子どもたちの利用の促進
- ② 図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり
- ③ 町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用

（3）社会教育事業の推進

- ① コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進

### **2 社会教育施設の管理運営**

（1）生涯学習センター「ラディアン」の適切な管理運営

- ① ラディアンの長寿命化計画の推進

（2）体育施設の適切な管理運営

- ① 体育施設の現況調査と今後の維持管理の検討

### **3 社会教育に関する情報発信の強化**

（1）二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用

## 1 学校教育

すべての教育活動を通して、児童生徒が人権尊重の意識を高め、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、安心して楽しく学ぶことのできる学校づくりを進めます。

このような人権教育の推進を基盤に「教育環境のさらなる充実」、「生きる力の育成」を基本とし、各学校では「子どもたちの育つ力」、「家庭・学校・地域の育む力」、「行政の支える力」をあわせ、自ら学び自己実現をめざす児童生徒の育成に努めます。

### 1 児童生徒の「生きる力」の育成

#### (1) 自ら学ぶ力を養うための教育の推進

##### ① 言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進

**重点施策**

- ・自ら学び、確かな学力を身につけられるよう、これまで培ってきた各教科における言語活動の工夫を柱として言語能力の確実な育成を図るとともに、学び合いを重視した授業への改善に努めます。

##### ② 英語教育の充実

**重点施策**

- ・小学校に、中学校英語科免許を持った教員を配置することで、授業や研修会等を通じて、小学校教員の英語指導力の向上を図ります。
- ・小中学校の英語教育において、ALT(外国語指導助手)の活用等を通じて、異文化理解、コミュニケーション能力を育成する授業づくりに努めます。
- ・英語検定費用の助成範囲を3級に加えて準2級以上にも拡大し、生徒の受験意欲を高めることを通じて、英語力と学習意欲の向上を図ります。

##### ③ ICT環境を活用した学びの充実

**重点施策**

- ・これまでに整備したタブレット端末や実物投影機をはじめとするICT機器の活用を進めるとともに、情報技術に関する理解の推進と効果的な授業の実施に向けた研修を引き続き行います。
- ・児童生徒一人1台のタブレット端末を効果的に活用するための授業支援システムやドリル教材を導入し、子どもたちの学びの充実を図ります。

##### ④ 道徳教育ならびに特別活動の充実

- ・特別の教科である道徳の教科化の趣旨に則り、学校の教育活動全体を通じて他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことができるよう、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等を育てるとともに、特別活動との連携による自主的、実践的な力の育成に努めます。

##### ⑤ 学校体育の充実

- ・生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育み、健康の保持増進と体力の向上を図ります。

## 2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備

### (1) 支援が必要な児童生徒への対応の充実

#### ① いじめ、不登校、ひきこもり等に対する体制の強化

**重点施策**

- ・問題行動の未然防止・早期発見・早期対応に向けて、各校の児童生徒指導体制を見直し、児童生徒理解を着実に進めるとともに、児童生徒指導担当、教育相談コーディネーター、スクールカウンセラー、心理教育相談員、スクールソーシャルワーカー等による相談支援体制の充実を図ります。
- ・教育研究所内の教育支援室（やまびこ）において、不登校児童生徒への学習支援や生活支援をより一層進めます。
- ・「二宮町いじめ防止基本方針」に基づき、二宮町におけるいじめ防止対策の総合的かつ効果的な推進を図ります。
- ・各校のいじめ防止基本方針について随時見直しを図り、適切に活用します。また、いじめ防止に関して児童生徒が積極的に関わる取り組みを進めます。

#### ② インクルーシブ教育・支援教育の充実

**重点施策**

- ・学校、家庭、関係機関等の連携のもとに支援体制を整え、個々の教育的ニーズを的確に把握し、その持てる能力、個性を伸ばす教育を進めます。
- ・小・中学校へ支援教育補助員を配置し、学习上・学校生活上の困難に応じた支援に努め、インクルーシブ教育の充実に取り組みます。また、外国籍等児童生徒への日本語指導、ことばの教室(そにつく)の運営等、きめ細かな指導を進めます。

### (2) 教職員の働き方改革の推進

#### ① 働く場としての環境整備

**重点施策**

- ・学校間ネットワークパソコン等を更新し、校務や教材研究にかかる業務効率の向上を図るとともに、タイムカードを導入・管理することで、勤務時間をより意識する環境を整えます。

#### ② 統合型校務支援システムの効果的な活用

**重点施策**

- ・各校において、統合型校務支援システムを活用することで、校務のさらなる正確性の確保や効率化を図ります。

#### ③ 部活動ガイドラインに基づく部活動の充実

**重点施策**

- ・令和元年度に策定した「二宮町立学校に係る部活動の方針」に基づき、中学校における部活動について、引き続き適正かつ充実した取り組みとなるよう推進します。

#### ④ 外部人材と外部情報の効果的な活用

- ・学習協力者や体育・文化活動指導員など、専門的な知識や技能を持つ外部人

材と外部情報の活用をより一層進めていきます。

### (3) 教職員の指導力の向上

#### ① 「教職員授業力向上研究事業」の推進

**重点施策**

- ・ 学習の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、小中学校間の連携を図り、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育む授業づくりに努めます。
- ・ 児童生徒の学力向上を目指して、校内研究のさらなる充実を図り、授業改善に努めます。

#### ② 教育研究所における研修の充実

**重点施策**

- ・ 学校教育に関する調査研究や各種教職員研修、教育指導員による訪問指導等を実施し、教職員の資質及び指導力の向上を図ります。
- ・ 教職員とともに、保護者や地域住民も参加できる研修を通じて、二宮町の教育について共通理解を深めます。

### (4) 児童生徒の学習環境の整備

#### ① 長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修

**重点施策**

- ・ 学校施設等現況調査委託の結果を踏まえた長寿命化計画（個別施設管理計画）に基づき、学校施設及び学校給食センターの計画的な改修を進めます。

## 3 将来に向けた特色ある学校づくりの推進

### (1) 小中一貫教育の推進

#### ① 二宮町小中一貫教育校設置計画の策定

**重点施策**

- ・ 「二宮町小中一貫教育校設置計画（案）」について、令和元年度に実施した意見交換会で寄せられた意見等を踏まえ、さらに調査研究を進めながら、計画案の見直しを行い、策定に向けた取り組みを進めます。

#### ② 小中一貫教育カリキュラム研究の推進

**重点施策**

- ・ これまでの研究成果をいかし、小中学校教員のワーキンググループでの活動を通じて、9年間を見通した授業づくりを目指します。

#### ③ かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施

**重点施策**

- ・ 小中一貫教育の基盤づくりとして、「一人も見捨てられない学級集団・学習集団づくり」をテーマに、町内すべての小・中学校が9年間を見通した共通性と一貫性をもった指導・支援に取り組み、これからの時代に求められる資質・能力の育成を図ります。

## (2) コミュニティ・スクール運営の促進

### ① 学校運営協議会の円滑な運営のための支援

**重点施策**

- ・町内すべての小・中学校に組織した学校運営協議会の円滑な運営により、学校が地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進します。
- ・各学校の学校運営協議会代表者や学校長に加え、地域学校協働活動推進員が一堂に会する情報交換会を定期的に行い、各学校における取り組みの共有と活性化を図ります。

### ② 地域との連携による児童生徒の活動の促進

**重点施策**

- ・学習協力者、体育・文化活動指導員等の地域教育力による支援を推進します。
- ・総合的な学習の時間、ボランティア活動、職場体験など、地域で学ぶ教育を推進します。

### ③ 郷土愛の育成

- ・地域の行事への積極的な参加を促し、地域交流を通じて郷土を愛する気持ちを育てます。
- ・学習活動に地域教材を活用し、地域について学ぶ教育を進めます。

### ④ キャリア教育の推進

- ・児童生徒一人ひとりが社会的・職業的自立に向けて自己の将来の生き方や進路を主体的に選択できる能力・意識の育成に努めます。また、児童生徒が発達段階に応じた勤労観、職業観を身に付け、社会に貢献できる力を育てます。
- ・児童生徒が学校で学ぶことと社会とのつながりを意識できるよう、自然の中での宿泊体験活動、総合的な学習の時間、ボランティア活動、職場体験などの体験学習を生かしながら、学校の教育活動全体を通じて効果的なキャリア教育を進めます。

## 4 その他、学校教育における取り組み

### (1) 学校における安全対策、安全教育

- ・「二宮町教育委員会学校防災方針」の見直しを行うとともに、各学校において「防災マニュアル」を適切に運用し、児童生徒の安全確保に努めます。
- ・「二宮町児童生徒安全対策協議会」等を通し、地域や関係機関と連携した安全体制の構築を推進します。
- ・「二宮町通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように、通学路の安全確保を図ります。
- ・「学校の新しい生活様式」に則して、学校教育活動全般における感染対策を実施します。

## (2) 情報教育

- ・児童生徒一人に1台のタブレット端末を効果的に活用し、高度情報化社会に生きる児童生徒の情報活用能力と情報社会に参画する態度の育成に努めます。
- ・SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）によるトラブルやネット依存など情報化社会の進展に伴う課題に対応するため、携帯電話・インターネットに関する安全・安心教室の開催や、家庭への啓発活動の促進等により、情報モラル教育の充実に努めます。

## (3) 読書指導

- ・朝読書や読み聞かせの時間をはじめ、教育活動の中に読書の時間を取り入れることで、読書習慣の形成に取り組みます。
- ・学校図書館指導員を配置し、利用頻度を高めるように環境整備を進めます。
- ・学校図書館や町図書館の利用を進め、読書を通じて「考える力」、「感じる力」、「想像する力」を身につけられる機会を確保し、児童生徒の「主体的な学び」に繋がります。

## (4) 「幼・保・小・中」の連続性を大切にした指導

- ・「幼・保・小交流会」や「小・中交流会」等の充実に図り、学びや育ちの連続性を大切に、幼児教育から学校教育及び異校種間の円滑な接続を図ります。

## (5) 学校給食センターにおける取り組み

- ・調理及び配送、配膳業務を委託した民間業者と連携し、安全でおいしい給食の安定的な提供に努めるとともに、栄養バランスのとれた、心のこもった手作りの給食を通して、児童生徒が食の大切さを学ぶ食育の充実に図ります。
- ・子どもたちが地域の産業や農産物を身近に感じ、興味・関心が高まるよう、地産地消を推進します。

# 5 学校教育に関する情報発信の強化

## (1) 学校ホームページや町ホームページ、広報紙等の積極的な活用 重点施策

- ・地域とともにある開かれた学校づくりを推進するため、町ホームページや広報紙、フェイスブック、学校だより等従来の手法に加え、学校独自のホームページを積極的に活用し、タイムリーで効果的な情報の継続的な発信に努めます。

## 2 社会教育

町民一人ひとりが、生涯いつでもどこでも自由に学習することができ、その成果が適切に評価されるような「生涯学習社会」の実現と共に個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を目指し、町民が主体となった多様な学習機会の提供、文化活動・生涯スポーツの推進を図ります。

町の文化交流拠点として、生涯学習センター「ラディアン」及び図書館について、駅周辺における公共施設再編の検討に合わせて今後の施設のあり方などの検討をすすめるとともに、他の社会教育施設も含め持続可能な施設管理及び効果的な運営について、町と連携して取り組みます。

### 1 地域文化の向上

#### (1) 二宮の自然・歴史・文化に触れる機会の提供

##### ① 文化芸術の振興・支援

**重点施策**

- ・ラディアン開館 20 周年を記念し、団体が実施するラディアンホールを活用した文化事業に支援を行うことにより、二宮町の文化の向上及び普及を図り、町民が多様な文化に触れることができる機会を提供します。
- ・町民の日頃の文化活動の成果発表の場の提供、伝統芸能の保存及び郷土愛の醸成を目的として「文化祭」、「ピアノマラソンコンサート」、「民俗芸能のつどい」などを実施します。
- ・「ふたみ記念館」では、観光事業との連携等を通じて、町出身の画家二見利節の絵画の認知度の向上を図るとともに、開館 10 周年を記念した常設展示や児童・生徒の作品展示等を通じて、施設の有効活用と地域に根ざした美術館を目指します。
- ・町指定文化財や貴重な資料などの整理・保存に努め、展示等公開するとともに、「湘南二宮バーチャル郷土館」や「にのみや町民大学講座」等を通じて二宮の自然や歴史に触れる機会を提供し、二宮町の魅力発信を行います。

##### ② 多世代が集い、学習し交流拠点となる場としての生涯学習センター「ラディアン」及び図書館のあり方の検討

**重点施策**

- ・駅周辺における公共施設再編の検討に合わせ、町民の交流拠点としてラディアン及び図書館の活用方法やあり方を、他の事例も参考にしながら検討します。

##### ③ 学習機会の整備

- ・生涯学習情報誌「身近な余暇ガイド」の情報収集・更新を行い、学習相談に応えるとともに、「町民大学サポーター制度」の周知・活用を図ります。
- ・生涯学習ボランティアが企画運営する「にのみや町民大学講座」を実施し、町民が主体となった学習機会を提供します。
- ・「にのみや町民大学講座」では、新たな生活様式に対応した講座の内容や実施

- 方法を検討し、いつでもどこでもだれでも学べる学びの場をめざしていきます。
- ・ 神奈川大学との包括協定事業の一環として、大学の資源を活用した事業を実施します。

## (2) 図書館事業の推進

### ① 子育て世代と子どもたちの利用の促進

**重点施策**

- ・ 生涯を通じた利用の入口として、「ブックスタート事業」（子育て・健康課共催）や親子向け事業に取り組みます。また、「こどものほんコーナー相談員」を定期的に配置し、絵本や育児書に関する質問や調べ学習、読書相談に対応します。
- ・ 町内の小中学校、高等学校、幼稚園や保育園と連携し、情報の発信や図書館資料の貸出を通じて、読書習慣形成への後押しや図書館利用の推進に取り組みます。
- ・ 子どもたち一人ひとりが自分らしい生き方を実現していく過程で、さまざまな考えや文化に触れられるよう、ティーンズコーナーの充実とPRに取り組みます。

### ② 図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり

**重点施策**

- ・ 町の文化と情報の拠点として、町に暮らす幅広い世代、さまざまな立場の町民に活用されるよう、定期的かつ多様な資料の更新、図書館基金を活用した幅広い資料の充実に取り組みます。
- ・ 子育て関連図書や、健康・医療関連図書をはじめとする各コーナー、各フロアについて、魅力ある書架づくりを進めます。
- ・ 新着資料のお知らせメールや資料予約、読書記録作成などのホームページサービスの利用促進をはじめ、アクセスしやすい環境づくりに取り組みます。
- ・ 図書館利用の促進を図るため、資料やサービスについて、図書館独自の広報ツール（図書館だより、ホームページ、Twitter）を通じた情報発信を進めるとともに、町広報ツール（広報にのみや、町ホームページ、町 Facebook など）も活用します。
- ・ 図書館がより身近な存在として多くの町民に親しまれるよう、町民との協働や協力を意識した運営に努めます。

### ③ 町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用

**重点施策**

- ・ 開館 20 周年事業として町民向け講座を開催するとともに、町にゆかりのある人物や資料整備を継続し、文化を育む風土の醸成に取り組みます。
- ・ 町に関する出版物や行政資料を収集整理し、地域への理解と思いの涵養に努めます。

### (3) 社会教育事業の推進

#### ① コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進

**重点施策**

- ・小学校に加え中学校にも地域学校協働活動推進員を配置し、見守り、学習支援、放課後の居場所づくりなど地域学校協働活動を推進します。また、地域住民・学校・団体・企業等多様な主体が参画できるようなネットワーク作りを目指します。
- ・放課後の安全・安心な居場所づくりと子どもたちの豊かな人間性を育むため、地域学校協働活動推進員と連携し、地域のボランティアの方々の協力のもと放課後子ども教室を実施します。

#### ② 人権教育の推進

- ・さまざまな人権問題に対し、人権意識を育むために人権教育研修会等を開催し啓発を行います。

#### ③ 青少年の健全育成

- ・青少年指導員連絡協議会、スポーツ推進委員、PTA連絡協議会、子ども会育成会連絡協議会との協力・連携により、児童・生徒の地域活動を促進します。
- ・レクリエーション、スポーツなどのさまざまな体験活動を通じて子どもたちの社会性、主体性を育み、将来地域を担う青少年の育成を行います。
- ・「中学生交流洋上体験研修」、「青少年交流キャンプ」などの実施、子ども会事業の支援等によって、広い視野を持った青少年を育成します。
- ・青少年環境浄化推進員との連携により、「青少年の健全育成キャンペーン」、「有害図書区分陳列の調査」及びPTA連絡協議会が行う「子どもSOSのいえ」への支援を実施し、青少年の社会環境浄化及び安全・安心の確保に努めます。
- ・ものづくりや科学実験等の体験活動の場として、「子どもチャレンジ教室」を実施します。

#### ④ 社会教育関係団体との連携

- ・町内の各社会教育関係団体との連携を密にし、共催事業の実施、研修会の開催など活動の支援を行います。

#### ⑤ 町民が主体となった社会体育事業の推進

- ・スポーツ推進委員連絡協議会主催の「バウンスボール大会」、スポーツ協会主催の「スポーツフェスティバル」など、子どもから大人まで、だれもが安全、安心して参加できる町民が主体となったスポーツ事業の支援を行います。

## **2 社会教育施設の管理運営**

### **(1) 生涯学習センター「ラディアン」の適切な管理運営**

#### **① ラディアンの長寿命化計画の推進**

**重点施策**

・特定天井基本設計を実施し、ラディアンの長寿命化計画を推進します。

#### **② ラディアンの利便性向上と運営の効率化**

・町民の学習・文化活動の拠点として、ラディアンの適切な施設運営を行います。また、引き続き施設利用者の利便性の向上と施設運営の効率化に努めます。

### **(2) 体育施設の適切な管理運営**

#### **① 体育施設の現況調査と今後の維持管理の検討**

**重点施策**

・体育施設の効率的な運営や整備を行い、町民の主体的なスポーツ活動の場の提供を行います。また、体育施設の現況調査を行い、今後の維持管理の方向性について検討を行います。

#### **② 温水プールのあり方の検討**

・設備の老朽化が進んでいる温水プールについて、町関係部署と検討組織を立ち上げ、多角的な視点から今後の施設のあり方を検討します。

## **3 社会教育に関する情報発信の強化**

### **(1) 二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用**

**重点施策**

・町民が等しく生涯学習の機会を得られるよう、二宮町ホームページや広報紙等を通じて、また、社会教育関係団体、社会教育施設利用者等、人と人のネットワークを通じて、学習・文化、スポーツ等の情報を積極的に発信していきます。

## 教育委員会について

二宮町教育委員会は、教育長及び4名の教育委員で構成され、教育委員会議において教育に関する規則の制定や重要な事項を審議決定しています。

### 二宮町教育委員会（令和4年3月31日現在）

職名	委員名	任期
教育長	もり ひでお 森 英夫	平成30年12月26日～令和3年3月31日 令和3年4月1日～令和6年3月31日（再任）
教育長 職務代理者	わたなべ ゆうこ 渡辺 優子	平成30年10月1日～令和4年9月30日
委員	の や まこと 野谷 悦	令和元年10月1日～令和5年9月30日
委員	おかの としひこ 岡野 敏彦	平成28年10月1日～令和2年9月30日 令和2年10月1日～令和6年9月30日（再任）
委員	ふじわら なおひこ 藤原 直彦	令和3年12月23日～令和7年12月22日

# 第1章 教育委員会の活動状況について

## 1 教育委員会議の運営状況（令和3年度）

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備 考
令和3年 4月23日	<p>&lt;付議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会委員の委嘱について</li> <li>・教育支援委員会委員の委嘱について</li> </ul> <p>&lt;報告・協議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の綱紀粛正</li> <li>・二宮町英語検定奨励金交付要綱の一部を改正する要綱</li> <li>・一色小学校単級への対応について</li> </ul> <p>&lt;事務報告等に対する主な意見・提案事項&gt;</p> <p>単級化による弊害は教員の多忙につながり、人員を増やす検討が必要になってきます。また、単級によるメリット・デメリットは、捉え方で変わるので、精査していくことも必要です。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p>&lt;傍聴4名&gt;</p> <p>（回答）</p> <p>人員については、予算の確保も含めて検討が必要です。小規模によるメリットもあるので、校長会や教頭会でも意見を伺い、より良い方法を検討していきます。</p>
令和3年 5月20日	<p>&lt;付議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度二宮町立小・中学校で使用する教科用図書の採択方針について</li> <li>・令和4年度二宮町一般会計補正予算について【非公開】</li> </ul> <p>&lt;報告・協議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校学級編制及び児童生徒数について</li> <li>・二宮町コミュニティ・スクール運営促進事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱について</li> <li>・二宮町教職員授業力向上研究補助金交付要綱の一部を改正する要綱について</li> </ul> <p>&lt;事務報告等に対する主な意見・提案事項&gt;</p> <p>ラディアンの利用する上での注意事項が、都心のホールなどと比べると厳しいです。二宮町はまん延防止が解除されている中で、いつまで続くのでしょうか。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p>&lt;傍聴3名&gt;</p> <p>（回答）</p> <p>町の新型コロナウイルス感染症対策本部で判断していますが、県内の複数の市町でまん延防止が出されていることや他都道府県で緊急事態宣言が出されている中では、緩くすることは難しいです。まん延防止が解除されたら、段階的に踏んでいきたいと考えています。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
令和3年 6月18日	<p>&lt;付議事項&gt; なし</p> <p>&lt;報告・協議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種委員会委員等の選任について</li> <li>・令和4年度使用教科書採択について</li> <li>・かながわ学びづくり推進地域研究委託事業アンケートについて</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピック競技大会学校連携観戦チケットについて</li> <li>・ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて</li> <li>・令和3年度二宮育英会奨学生の選考結果等について【非公開】</li> </ul> <p>&lt;事務報告等に対する主な意見・提案事項&gt;</p> <p>ほとんどの学校が土砂災害特別区域に指定される中で、小中一貫教育のスケジュールはどうなのでしょう。また、一色小学校の卒業生が2つの中学校に分かれる問題もあります。</p>		<p>&lt;傍聴0名&gt;</p> <p>(回答)</p> <p>直ぐの対応は難しいのですが、将来的に統合していくのは避けられないため、考えていく必要があります。また、令和5年度から分離型小中一貫教育が始まるので、その整理も必要です。</p>
令和3年 7月30日	<p>&lt;付議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度小学校使用教科用図書採択について</li> <li>・令和4年度中学校使用教科用図書採択について</li> <li>・令和4年度小・中学校使用学校教育法附則第9条による教科用図書採択について</li> </ul> <p>&lt;報告・協議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二宮町教育委員会点検及び評価報告書(案)について</li> <li>・中学校夜間学級について</li> <li>・通学路緊急点検について</li> <li>・土砂災害警戒区域等について</li> <li>・二宮町体育祭、二宮町・町内一周継走大会について</li> </ul> <p>&lt;事務報告等に対する主な意見・提案事項&gt;</p> <p>支援教育補助員の方からタブレットが配付されていないと聞きましたが、必要最低限で揃えるのではなく、余裕を持って揃えていただきたいです。</p>	<p>原案可決 原案可決 原案可決</p>	<p>&lt;傍聴3名&gt;</p> <p>(回答)</p> <p>学校現場の要望を見つつ、予算計上をしていきます。研修会でこれからは、一人一台より、一人1アカウントが大事であると聞きました。アカウントがあれば、どの端末でも作業することが出来ます。活用方法の周知が必要になってきています。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
令和3年 8月20日	<p>&lt;付議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会委員の委嘱について</li> <li>・令和4年度小・中学校使用学校教育法附則第9条による教科用図書採択について</li> <li>・令和3年度二宮町一般会計補正予算（第6号補正）について【非公開】</li> </ul> <p>&lt;報告・協議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二宮町教育委員会点検及び評価報告書（案）について</li> <li>・コミュニティ・スクールの運営状況について</li> <li>・通学路緊急点検について</li> <li>・教育支援室教育相談活動について【非公開】</li> </ul>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p>&lt;傍聴0名&gt;</p>
令和3年 9月17日	<p>&lt;付議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度二宮町一般会計補正予算（第7号補正）について【非公開】</li> </ul> <p>&lt;報告・協議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について</li> <li>・小中学校の2学期の状況について</li> </ul> <p>&lt;事務報告等に対する主な意見・提案事項&gt;</p> <p>オンライン授業について、5校でお互いのやり方をシェアしあい、学校間で差が出ないように連携をしていただきたいと思います。</p>	<p>原案可決</p>	<p>&lt;傍聴0名&gt;</p> <p>（回答）</p> <p>中学校同士では、互いの授業を視察するなど情報共有が進んでいます。小学校は、オンライン授業だけではなく、発達段階に応じた対応の必要性を感じています。また、小学生は自身でオンラインに接続することが難しい家庭もあります。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
令和3年 10月29日	<p>&lt;付議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二宮町教育委員会点検及び評価報告書（案）について</li> <li>・令和4年度二宮町公立学校教職員人事異動方針について</li> <li>・スポーツ推進委員の委嘱について</li> </ul> <p>&lt;報告・協議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度全国学力・学習状況調査について</li> <li>・二宮町立中学校修学旅行中止に伴うキャンセル料補助金交付要綱を廃止する要綱について</li> <li>・二宮町立中学校修学旅行中止に伴うキャンセル料補助金交付要綱について</li> <li>・二宮町児童生徒就学援助費交付用の一部を改正する要綱について</li> <li>・二宮町まちづくり小中学生アンケート結果まとめ及び中学校生徒会ワークショップについて</li> </ul> <p>&lt;事務報告等に対する主な意見・提案事項&gt;</p> <p>施設の老朽化、学校を新設するのか、どこの学校施設を残すのか方針が必要な時期になっています。</p>	原案可決  原案可決  原案可決	<p>&lt;傍聴3名&gt;</p> <p>(回答)</p> <p>令和5年度から分離型小中一貫教育がスタートします。基となる計画を今年度中に策定したいと考えています。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
令和3年 11月18日	<p>&lt;付議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について【非公開】</li> <li>・令和3年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について【非公開】</li> <li>・令和3年度二宮町一般会計補正予算（第8号補正）について【非公開】</li> </ul> <p>&lt;報告・協議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度予算について【非公開】</li> <li>・令和4年度二宮町成人祝賀会開催要項（案）について</li> </ul> <p>&lt;事務報告等に対する主な意見・提案事項&gt;</p> <p>『オンラインで世界に修学旅行』は、ICTのメリットを活かした企画で、生徒も喜んでいる声を聞きました、これからも、今までの発想を超えたチャレンジをしてもらいたいと思います。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p>&lt;傍聴1名&gt;</p> <p>（回答）</p> <p>海外での暮らし方や自分の働き方も紹介してもらい、キャリア教育にも繋がる内容でしたので、とても良い企画でした。</p>
令和3年 12月17日	<p>&lt;付議事項&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;報告・協議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育の方向性について</li> <li>・温水プールについて</li> </ul> <p>&lt;事務報告等に対する主な意見・提案事項&gt;</p> <p>部活動の受け皿としての地域スポーツクラブの創出と地方活性への可能性の検証は、意義を感じており、期待をしています。</p>		<p>&lt;傍聴3名&gt;</p> <p>（回答）</p> <p>現在は、スポーツクラブと旅行会社が連携し、実証をしている最中です。保護者負担や平日休日で指導者が変わるなど、解決しなければならない問題が多くあります。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
令和4年 1月21日	<p>&lt;付議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度二宮町一般会計補正予算（第12号補正）について【非公開】</li> <li>・令和4年度二宮町予算（案）について【非公開】</li> <li>・教育委員会事務局職員等人事について【非公開】</li> </ul> <p>&lt;報告・協議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度二宮町教育委員会基本方針（案）について</li> <li>・二宮町小中一貫教育推進計画（案）について</li> </ul> <p>&lt;事務報告等に対する主な意見・提案事項&gt;</p> <p>小中一貫教育ワーキングの図工部会での情報交換では、基本に立ち返り、工夫をし、考えることで、様々な色が出せるようになり、制約がある中でやることは、工夫・楽しみ・達成感が得られるという効果に繋がっています。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p>&lt;傍聴3名&gt;</p> <p>（回答）</p> <p>小中のワーキングをすることで、評価についても情報交換ができました。来年度は、各小中学校の情報交換を踏まえた授業展開をしていく予定です。</p>
令和4年 2月10日	<p>&lt;付議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二宮町立学校の教育職員の業務量の管理に関する規則について</li> <li>・令和3年度二宮町一般会計補正予算（第12号補正）について【非公開】</li> </ul> <p>&lt;報告・協議事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度二宮町教育委員会基本方針について</li> <li>・二宮町小中一貫教育推進計画（案）について</li> <li>・令和4年度小・中学校給食実施計画表について</li> </ul> <p>&lt;事務報告等に対する主な意見・提案事項&gt;</p> <p>学校ホームページがスタートして、2年がたち、ホームページの更新頻度や中身の充実で学校の違いがあり、課題だと感じますが、それによって時間が取られてしまうと、働き方改革もあるので、難しい問題です。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p>&lt;傍聴1名&gt;</p> <p>（回答）</p> <p>更新頻度の多い学校ほど時間外が多い現状があります。情報発信に熱心な職員が異動すると、異動先の学校ホームページが頻繁に更新されることはあります。コミュニティ・スクールで得意な方がいたら、協力してもらおうよう声をかけています。</p>



	<p>&lt;事務報告等に対する主な意見・提案事項&gt;          小中一貫教育推進計画が策定されることで、様々な問題が整理されているのが良かったです。今後は、研究会で施設一体型に向けた検討やキャリア教育のことも議論できればと思います。</p>		<p>(回答)          今後設置予定の研究会では、小学校の今後など様々なことを議論していくこととなります。また、PTA連絡協議会や学校運営協議会などで小中一貫教育について、説明をしていく予定です。</p>
--	---	--	---

## 2 学校訪問

<訪問内容>

- ① 授業参観
- ② 「教育方針」「学校教育推進に伴う課題（施設の維持・危機管理・サービスなど）」について説明
- ③ 具体的な教育活動（児童生徒指導の実情と問題点）や学校研究の特色などについての説明
- ④ 質疑応答

<学校訪問の状況>

訪問日	場 所
令和3年6月18日	町立一色小学校
令和3年10月29日	町立二宮中学校
令和3年11月1日	町立二宮小学校
令和3年11月11日	町立山西小学校
令和3年11月18日	町立二宮西中学校

## 3 研修会

関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（5月28日・千葉県市原市）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により書面開催となった。

## 4 その他の活動状況

### ①町の各種委員会委員への選任状況

委員会の名称	委員名
都市計画審議会	野谷 悦
学校給食センター運営委員会	藤原 直彦
二宮育英会	渡辺 優子
二宮町総合計画審議会	岡野 敏彦
第3次二宮町男女共同参画プラン策定委員会	岡野 敏彦

### ②小・中学校や教育委員会関係行事への参加状況

開催日	行事名
令和3年4月1日	教職員等辞令交付式
5月20日	第1回総合教育会議
8月20日	第2回総合教育会議
令和4年1月5日	教育委員会表彰式
1月21日	第3回総合教育会議
3月31日	教職員等転退職者辞令交付式

## 5 教育委員会議の公開

二宮町教育委員会議規則第15条に基づき、会議は教育長の許可を得て傍聴することができるとしている。

令和3年度は、23名の傍聴人があった。

## 6 教育委員会の活動状況 点検評価

※「別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート」に記載（次ページ以降）

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
教育委員会議の実施状況	1 開催回数 13回 ( 定例会 12回 ) ( 臨時会 1回 )  2 議案件数 27件  3 請願件数 0件  4 傍聴 52名	1 開催回数 12回 (定例会 12回)  2 議案件数 38件  3 請願件数 0件  4 傍聴 23名
<b>成果・課題</b>	<b>評価・所見</b>	
<p><b>【成果】</b> 令和3年度二宮町教育委員会基本方針を念頭に置き、議案38件を審議した。各定例会においては教育長報告、各所管課からの実績報告や事業予定により、事業の進捗状況と現状の課題を共有した。小中一貫教育に関しては、小中一貫教育推進計画を策定するために意見を頂き、計画への反映を進めた。また、新型コロナウイルス感染症の流行下における学校運営やオンライン授業の状況、生涯学習事業について、現状の共有を図った。</p> <p><b>【課題】</b> 開かれた会議運営という点で、教育委員会の定例会議事録と会議資料をホームページに掲載して、町民への共有化を推進した。迅速な議事録作成の事務作業効率化が継続課題となっている。</p> <p>二宮町の教育全般について、未来を担う子どもたちのために、町民の意思を的確に反映しつつ、執行機関としての役割を果たしていく。</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：A)</p> <p>教育委員会議定例会においては、学校教育や生涯学習の現状や課題を共有し、顕在化した課題の解決策や、これから顕在化すると予想される課題の発掘に向けた意見交換により、課題解消に向けたアイデアの発掘や懸念点の共有化を進め、その解消策を着実に講じている。特に小中一貫教育推進計画の策定においては、現状課題の共有とその対応は着実に講じることができたため評価はAとした。</p> <p>引き続き、教育委員会制度、法の趣旨に則り、適切に教育行政を運用するとともに、二宮町の教育界を次代へと導く役割を果たしていく。</p>	

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
学校訪問等の活動	1 学校訪問 町立小中学校 5 校訪問  2 各種研修会等 市町村教育委員会オンライン協議会 総合教育展	1 学校訪問 町立小中学校 5 校訪問  2 各種研修会等 関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会 関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（5/28 書面開催） 令和3年神奈川県市町村教育委員会連合会第1回役員会及び総会（4/14 書面開催） 令和3年度神奈川県市町村教育委員会連合会第2回役員会（8/10 オンライン） 令和3年度市町村教育委員会オンライン協議会（9/2、12/23、2/10） 令和3年度神奈川県市町村教育委員会連合会研修会（10/21 オンライン）
<b>成果・課題</b>		<b>評価・所見</b>
<p><b>【成果】</b> 学校訪問時は事前に給食の試食をし、普段、子どもたちが食べているものの質や量を確認している。学校訪問では授業参観や懇談を通じて、現場の児童生徒、先生の様子を感じ、活発な意見交換を通じて各学校の教育方針や学校経営の実情を確認することができた。また、新型コロナウイルス感染症対策により、教育委員会の諸行事は一部の参加や、文部科学省などの研修会等の多くがオンライン開催となったが、教育行政全般に目を向けた幅広い視野を持つために、教育委員相互が積極的に意見交換し、それぞれのビジョンの共有に努めた。以上のような機会により教育委員としての資質向上につながり、定例会等でより良い議論や意見交換・提案等につながっている。</p> <p><b>【課題】</b> 学校訪問等を通じて学校現場を把握することについては時間が限られていることもあり、より正確に学校の状況を理解する機会や方法を考えていくことが課題である。</p>		<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p style="text-align: right;">（前年度評価：A）</p> <p>学校訪問や諸行事の参加により、地域交流の課題や特別教室の利活用の現状をはじめ、教育現場の状況を確認するとともに、顕在化した学校運営の課題発掘とその解消策を見出す活動を推進した。また、オンライン協議会への参加により、他市町村との共通課題や二宮町 I C T 環境の質の高さを確認することができた。引き続き、各種行事、研修会に参加をすることで視野を広げ、教育行政全般に関する諸課題については、より学校の実情の把握に努める。</p>

## 第2章 教育委員会における主要事業

### 1 教育総務課の主要事業

#### ●学校教育の重点施策

重点施策			頁
1 児童・生徒の「生きる力」の育成	(1) 自ら学ぶ力を養うための教育の推進	①言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進	28 29
		②英語教育の充実	
		③ICT環境を活用した授業の充実	
2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備	(1) 支援が必要な児童生徒への対応の充実	①いじめ、不登校、ひきこもり等に対する体制の強化	30
		②インクルーシブ教育・支援教育の充実	
	(2) 教職員の働き方改革の推進	①働く場としての環境整備	31
		②統合型校務支援システムの効果的な活用	
		③部活動ガイドラインに基づく部活動の充実	
	(3) 教職員の指導力の向上	①「教職員授業力向上研究事業」の推進	32
		②教育研究所における研修の充実	
	(4) 児童生徒の学習環境の整備	①長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修	33
3 将来に向けた特色ある学校づくりの推進	(1) 小中一貫教育の推進	①二宮町小中一貫教育校設置計画の策定	34
		②小中一貫教育カリキュラム研究の推進	
		③かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施	
	(2) コミュニティ・スクール運営の促進	①学校運営協議会の円滑な運営のための支援	35
		②地域との連携による児童生徒の活動の促進	
4 学校教育に関する情報発信の強化	(1) 学校ホームページや町ホームページ、広報紙等の積極的な活用	36	

## 2 生涯学習課の主要事業

### ●社会教育の重点施策

重点施策			頁
1 地域文化の向上	(1) 二宮の自然・歴史・文化に触れる機会の提供	①文化芸術の振興・支援	37
		②多世代が集い、学習し交流拠点となる場としての生涯学習センター「ラディアン」及び図書館のあり方の検討	
	(2) 図書館事業の推進	① 子育て世代と子どもたちの利用の促進	38
		② 図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり	
		③ 町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用	
	(3) 社会教育事業の推進	① コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進	39
2 社会教育施設の適切な管理運営	(1) 生涯学習センター「ラディアン」の適切な管理運営	①ラディアンの長寿命化計画の推進	40
	(2) 体育施設の適切な管理運営	①体育施設の現況調査と今後の維持管理の検討	
3 社会教育に関する情報発信の強化	(1) 二宮町ホームページや広報誌の積極的な活用		41

## 3 教育委員会の活動状況 点検評価

※「別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート」に記載（次ページ以降）

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度(令和2年度) 実績・状況		当年度(令和3年度) 実績・達成状況	
<p><b>重点施策</b></p> <p>1 児童・生徒の「生きる力」の育成 (1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進</p> <p>①言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進</p> <p>②英語教育の充実</p> <p>③ICT 環境を活用した授業の充実</p> <p>(教育総務課 指導班)</p>	<p><b>【行政評価の成果指標】</b></p> <p>①なし</p> <p>②中学校卒業時における英検 3 級の取得率</p> <p>③週 1 回以上授業で ICT を使用したか</p> <p><b>【目指すべき目標】</b></p> <p>①全国学状：話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合、小学校 75%、中学校 75%</p> <p>⇒結果：令和 2 年度は調査中止</p> <p>②英検 3 級取得率 50%</p> <p>⇒結果：35.2%</p> <p>③ I C T 利用率 100%</p> <p>⇒結果：令和 2 年度は調査中止</p> <p><b>【実績・達成状況】</b></p> <p>①全員挙手の授業を山西小学校にて先行実施。他校にも研究の成果を共有した。</p> <p>②英検 3 級の取得率は、コロナ禍により受験者数も減少し、低い数値となった。一方で、日々の学習においては、ALT、専科、担任それぞれがもつ強みを生かしながら、自分の気持ちを表現したくなる場面設定を意識した授業を展開した。</p> <p>③情報教育担当者会で具体的な ICT 機器の活用例を共有した。</p>		<p><b>【行政評価の成果指標】</b></p> <p>①なし</p> <p>②中学校卒業時における英検 3 級の取得率</p> <p>③週 1 回以上授業で ICT を使用したか</p> <p><b>【目指すべき目標】</b></p> <p>①全国学状：話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合、小学校 75%、中学校 75%</p> <p>⇒結果：小学校 78% 中学校 81%</p> <p>②英検 3 級取得率 50%</p> <p>⇒結果：42.6%</p> <p>③ I C T 利用率 100%</p> <p>⇒結果：小学校 23% 中学校 68%</p> <p>(令和 3 年 5 月 27 日時点)</p> <p><b>【実績・達成状況】</b></p> <p>①令和 3 年度は全ての小中学校が 6 つの手立てを用いた話し合い活動を中心とした授業づくりに取り組んだ。小中学校ともに昨年度よりも数値が向上した。</p> <p>②英検 3 級の取得率が昨年度よりも向上したが、目標値までは達成できていない。</p> <p>③GIGA スクール構想に基づく児童生徒 1 人 1 台の環境が整い、できるところからではあるが、授業等で活用ができた。情報教育担当者会で ICT 機器の活用の好事例や課題について共有した。</p>	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	8,898,000	8,487,203	9,249,000	8,883,798

成果・課題	評価・所見
<p><b>【成果】</b></p> <p>①全小中学校が受容的かつ共感的な学級づくりをベースにした学び合い・話し合いの授業づくりに取り組んだ。それぞれの学校で手応えを感じる実践も見られ、職員全体でその意義や手法等について共有することができた。</p> <p>②英検取得率が前年度比で7ポイント向上した。英語研修会において、子どもたちの英語への抵抗感が全体として減ってきている声が継続してあがっている。</p> <p>③児童生徒1人1台の環境が整い、中学校を中心に授業におけるICTの活用が進んできたが、ICTの利活用は十分ではないため対策が必要である。また、様々な理由により自宅で過ごす子どもたちがICTを活用して授業に参加できるケースも見られるようになった。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>①引き続きすべての教職員が受容的かつ共感的な学級づくりをベースにした誰一人見捨てられない全員参加の授業づくりに共通性と一貫性をもって取り組んでいく必要がある。</p> <p>②英検3級目標取得率が未達のため、今後も継続して授業改善と英語検定奨励金制度を活用した受験を促す必要がある。</p> <p>③まずは、子どもたちに身につけさせたい情報に関する資質・能力を体系化すること。それに基づいて情報活用能力や情報モラルに関する研修計画や指導計画を立てるとともに、すべての先生が目的に応じてICT機器を積極的に活用していけるよう促していく。</p> <p>ICTを使うこと自体は目的ではないが、その効果を検証するために、同じことをやるなら時間が短縮される、同じ時間をかけるなら質が上がる、今までにない新しいことができる、という三つの視点で利活用向上の方策を考える必要がある。</p>	<p><b>B</b></p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：B)</p> <p>①全小中学校が受容的かつ共感的な学級づくりをベースにした学び合い・話し合いの授業に取り組んだ。引き続き、全員参加の授業の意義と手法について学び、手応えを感じる実践を着実に積み重ねていきたい。</p> <p>②英語教育研修会等を通じて、ALT、担任、専科それぞれがもつ強みを生かしながら、指導力向上に努めると共に、子どもたちが話したくなる、聞きたくなる外国語の授業づくりに継続して取り組んでいく。また、英語検定奨励金制度を活用した受検の促しを継続して取り組んでいく。</p> <p>③GIGAスクール構想の実現に向けて、ICTを活用した実践を積み重ねていくとともに、情報モラル教育等、情報教育に関するロードマップを作成していきたい。</p> <p>学校現場と教育委員会が一体となった取り組みにより、それぞれの成果指標が向上しているが、目標値に対して充分とは言えないことから、評価Bとした。</p>

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備 (1) 支援が必要な児童生徒への対応の充実 ①いじめ、不登校、ひきこもり等に対する体制の強化 ②インクルーシブ教育・支援教育の充実 (教育総務課 指導班)	<b>【行政評価の成果指標】</b> ①相談援助職の稼働日数/月：心理・SC20、SSW14、年間相談件数 1460 件 ②支援教育補助員の人数 24 人 <b>【目指すべき目標】</b> ①不登校率小学校：1%、中学校：4% ②支援教育補助員 24 名 S S W 2 名、 <b>【実績・達成状況】</b> ①小学校 R2：1.6%、中学校 R2：5.1% ②支援を必要とする児童・生徒のニーズに応じた教育を行うため、小中学校に支援教育補助員を配置し必要な支援を行った。また、日本語を母語としない児童生徒に対して日本語指導員を派遣した。 ・支援教育補助員人数 5 校合計 24 名 ・日本語指導員人数 4 校のべ 4 名		<b>【行政評価の成果指標】</b> ①相談援助職の稼働日数/月：心理・SC20、SSW14、年間相談件数 1510 件 ②支援教育補助員の人数 24 人 <b>【目指すべき目標】</b> ①不登校率小学校：1%、中学校：4% ②支援教育補助員 24 名 S S W 2 名 <b>【実績・達成状況】</b> ①小学校 R3：1.5%、中学校 R3：6.2% ②多様化する教育的ニーズに対応するには、今後も人材の確保と育成が必要である。継続的に研修の機会を設け、インクルーシブ教育を推進するための職員の資質能力の向上が必要である。 ・支援教育補助員人数 5 校合計 24 名 ・日本語指導員人数 4 校のべ 6 名	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	28,582,676	27,934,385	30,045,000	28,516,577
<b>成果・課題</b>		<b>評価・所見</b>		
<b>【成果】</b> ①オンライン授業の頻度を高め、家庭訪問の回数を増やすなど、ICT 利活用と援助職等による人的支援により、子どもたちの状況に合わせて、児童生徒が学校とつながることができる選択肢を増やした。これにより、児童生徒一人ひとりの事情に合わせたきめ細かな対応実績を残すことができた。また、援助職がそれぞれの専門性を生かしながら、児童生徒及びその保護者を支援するとともに、必要に応じて外部機関と連携した。学校においても援助職との連携について理解が進み、校内の教育相談体制への位置づけができつつある。 ②教員と支援教育補助員が連携することで、困難・課題を抱えた児童生徒の支援の充実を図れた。日本語指導員により、児童生徒への指導の他、保護者との円滑な連携にもつながっている。 <b>【課題】</b> ①不登校児童生徒数が増加していることや家庭に関する教育相談が増加していることから、更なる支援体制の強化が課題である。②支援が必要な児童生徒の増加、教育的ニーズの多様化により、人材の確保と育成が今後も課題である。		<b>B</b> (前年度評価：B) ① 不登校児童生徒、ヤングケアラー等多様化かつ複雑化する課題への対応や援助職の校内の教育相談体制のあり方について、効果的かつ効率的な支援方法を研究工夫していく。 ② 多様化する教育的ニーズに対応するには、今後も人材の確保と育成が必要である。継続的に研修の機会を設け、インクルーシブ教育を推進するための職員の資質能力の向上が必要である。 各分野に引き続き取り組む課題があるが、学校等での丁寧な対応実績は増えてきていることは評価する。		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備  (2) 教職員の働き方改革の推進 ①働く場としての環境整備 ②統合型校務支援システムの効果的な活用 ③部活動ガイドラインに基づく部活動の充実  (教育総務課 教育総務班・指導班)	<b>【行政評価の成果指標】</b> 教職員の時間外勤務の平均値 (h/月) R 2 見込 39. 2 <b>【目指すべき目標】</b> 時間外勤務時間を1か月で45時間、1年で360時間を越えないことを最低限の目標とする。 <b>【実績・達成状況】</b> ○統合型校務支援システムを活用することにより、成績処理の効率化や児童・生徒の情報を一括して管理することができるようになり、勤務時間の短縮をすることができた。 ○二宮町立学校に係る部活動の方針に則り、適切な休養日及び活動時間を設定した。		<b>【行政評価の成果指標】</b> 教職員の時間外勤務の平均値 (h/月) R 3 見込 39. 2 <b>【目指すべき目標】</b> 時間外勤務時間を1か月で45時間、1年で360時間を越えないことを最低限の目標とする。 <b>【実績・達成状況】</b> ○学校間ネットワークを更新する際に勤怠管理システムを導入し、より実態に即した勤怠管理をすることができるようになった。 ○令和3年度から冬季学校閉庁日を設定した。 ○二宮町立学校に係る部活動の方針に則り、適切な休養日及び活動時間を設定した。	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	10,618,000	10,354,420	18,217,000	17,645,457
<b>成果・課題</b>	<b>評価・所見</b>			
<b>【成果】</b> 令和3年度の教職員の時間外勤務の状況 小学校平均 36.3 (h/月) 435.6 (h/年) 中学校平均 58.4 (h/月) 700.8 (h/年) 全校平均 47.3 (h/月) 568.2 (h/年) <b>【課題】</b> 勤務実態を正確に把握するため、学校間ネットワークを更新した際に勤怠管理システムを導入し、勤務時間の意識啓発を行ってきたが、コロナ禍における感染症対策等、教員が行う業務も増加しており、目指すべき目標の年間時間外勤務である360時間を大幅に超えている。特に中学校については、部活動など休日勤務も多く、小学校と比較すると時間外勤務が非常に多い。 引き続き、教職員が担うべき業務に専念できる環境の整備と支援体制の強化に努めていく必要がある。	<b>B</b>  <div style="text-align: right;">(前年度評価：B)</div> 令和3年度は、新たに冬季の学校閉庁日の設定、校務支援システムを活用した事務の効率化、勤怠管理システムによる職員の意識啓発などを行ってきたが、目標成果との隔たりが大きいため、評価はBとした。引き続き国・県に対し、教職員の定数改善等の要望をしていくとともに、今後の部活動の地域移行等も含め、取り組むべき課題が解決できるように推進していく必要がある。 勤務時間超過は慢性的な課題であるため、ポイントを絞って一つ一つ解消する必要がある。特に中学校は小学校に対して超過時間が多いため、部活動改革などの方策も検討を進める。			

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備  (3) 教職員の指導力の向上 ①「教職員授業力向上研修事業」の推進 ② 教育研究所における研修の充実  (教育総務課 指導班)	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし <b>【目指すべき目標】</b> ①全国学状：話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合、小学校 75%、中学校 75% ②新採用や臨時的任用等の若手教員の指導力向上 <b>【実績・達成状況】</b> ①全国学状：コロナの影響で中止 ②教育研究所に非常勤の指導員を配置し、新採用や臨時的任用等の若手教員の指導を行った。		<b>【行政評価の成果指標】</b> なし <b>【目指すべき目標】</b> ①全国学状：話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合、小学校 75%、中学校 75% ②教職員の指導力向上 <b>【実績・達成状況】</b> ①全国学状：話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合 ⇒結果：小学校 78% 中学校 81% ②教育研究所に非常勤の指導員を配置し、新採用や臨時的任用等の若手教員の指導を行った。また、ICT活用指導力向上研修や読み書きが苦手な児童生徒への支援・指導に関する研修を行った。	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	1,413,398	1,410,398	1,699,000	1,685,921
<b>成果・課題</b>			<b>評価・所見</b>	
<b>【成果】</b> ①全小中学校が受容的かつ共感的な学級づくりをベースにした学び合い・話し合いの授業づくりに取り組んだ。それぞれの学校で手応えを感じる実践も見られ、学校全体でその手法等について共有することができた。②研究所指導員による若手教員の授業参観を行うことで、緊張感のある授業公開が指導力向上につながっている。読み書きが苦手な児童生徒への支援・指導に関する研修では、保護者や地域住民も参加し、教育について共に研修を行うことができた。 <b>【課題】</b> ①校種を超えて相互に授業参観し合うことで小中間の接続を円滑していくとともに、優れた実践を共有し、学校間で子どもたちの学びに大きな差が出ないようにする。②若手教員の増加による、教職員の指導力向上は喫緊の課題である。			<b>A</b>  (前年度評価：A) ①全小中学校が受容的かつ共感的な学級づくりをベースにした学び合い・話し合いの授業に取り組んだ。引き続き、全員参加の授業の意義と手法について学び、手応えを感じる実践を着実に積み重ねていきたい。 ②教育研究所の人材育成事業により若手教職員の授業力向上につながっている。若手教員が増加しているため、授業参観及び指導を今後も実施していきたい。多様な教育課題に対応できるよう社会的なニーズを踏まえた研修を行うことができた。 以上のことから評価をAとした。	

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備 (4) 児童生徒の学習環境の整備 ① 長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修 (教育総務課 教育総務班)	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> 専門家による現況評価により、すでにその多くが 40 年を経過している学校施設を安全かつ効率・効果的に維持していく。  <b>【実績・達成状況】</b> 現況調査により、安全上、速やかに対処しなければならない箇所について、令和 2 年度では補正対応、令和 3 年度の当初予算で措置をすることができた。また今後の学校施設の長寿命化計画の基礎資料としても活用された。		<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> 令和 2 年度に実施した学校施設等現況調査委託の結果を踏まえた長寿命化計画(個別施設管理計画)に基づき、学校施設及び学校給食センターの計画的な改修を進める。  <b>【実績・達成状況】</b> 長寿命化計画(個別施設管理計画)に基づき、安全上、速やかに対処しなければならない箇所について、一部を修繕・工事を実施することができた。また、令和 4 年度も引き続き修繕及び工事するための予算措置をすることができた。	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	20,790,000	20,790,000	29,755,000	29,714,005
<b>成果・課題</b>	<b>評価・所見</b>			
<b>【成果】</b> 長寿命化計画(個別施設管理計画)に基づき、予算措置した学校施設の修繕料及び工事費を全て執行することができた。また、令和 4 年度も引き続き修繕及び工事するための予算措置をすることができた。  <b>【課題】</b> 安全面を第一に、予防的な修繕を実施していく上で、それに対処していくためのマンパワーや予算の確保など、町の中でも大規模な学校施設を適切に維持管理していくための課題は多い。	<b>A</b>  (前年度評価：－) ----- 長寿命化計画(個別施設管理計画)に基づき、大きなトラブルもなく各工事等を完了し、次年度への予算措置へつなげられたことから評価を A とした。 一方で今回の調査結果を財源等、限られた状況の中で効果的に生かしていくには、スピード感を持って短期的に実施することや中長期的に実施することを整理していく必要がある。また、それを着実に進めていくための体制の整備も必要である。			

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 3 将来に向けた特色ある学校づくりのための推進 (1) 小中一貫教育の推進 ① 二宮町小中一貫教育校設置計画の策定 ② 小中一貫教育カリキュラム研究の推進 ③ かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施 (教育総務課 指導班)	<b>【行政評価の成果指標】</b> 全国学状：将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合 75.6% <b>【目指すべき目標】</b> 全国学状：将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合 75.6% <b>【実績・達成状況】</b> コロナの影響で全国学状中止 (1) 設置計画の一環として二宮町が取り組む小中一貫教育のグランドデザインのアウトラインを作成した。 (2) 各ワーキンググループで9ヶ年の学習について小中一貫における「各教科の概要」「単元系統一覧表」「教科年間計画」を小中一貫教育カリキュラムとして作成した。		<b>【行政評価の成果指標】</b> 全国学状：将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合 75.6% <b>【目指すべき目標】</b> 全国学状：将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合 75.6% <b>【実績・達成状況】</b> 全国学状：将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合 72.2% ① 二宮町小中一貫教育推進計画案を作成し、教育委員会議で検討を行った。 ② 各ワーキンググループで苦手な単元の洗い出し等を行い、教科の特性に合わせた小中一貫した指導方法について研究を行った。 ③ 令和3年度は全ての小中学校が6つの手立てを用いた話し合い活動を中心とした授業づくりに取り組んだ。小5～中3対象にアンケート調査を実施。	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	0	0	3,268,000	3,196,828
<b>成果・課題</b>		<b>評価・所見</b>		
<b>【成果】</b> ① これまでの経緯や教育委員の意見等を踏まえ、二宮町小中一貫教育推進計画策定を進めることができた。 ② 教科ごとのワーキンググループにおいて、指導の改善に向け、小学校と中学校で活発な意見交換を行うことができた。 ③ アンケート結果では、肯定的な回答が多く見られ、取り組みの成果が表れた。特に自己有用感の高い数値を維持できた。 <b>【課題】</b> ① ワーキンググループでの研究を進めるにあたり、教員の働き方改革を踏まえ、過度な負担をかけない、バランスの取れた研究を進める必要がある。 ② アンケートでは、「自分にはよいところがある」「自分の考えをはっきり伝えることができる」項目が他より低い評価となった点が課題である。		<b>A</b> (前年度評価：B) ① 二宮町小中一貫教育推進計画については、教育委員を含め概ね合意形成が図られ施設一体型への方向性を示すことができた。今後、保護者、町民等と研究を進めていく。 ② 各教科のワーキンググループでのカリキュラム研究は、活発になってきている。来年度、検証授業を実施していく。 ③ 受容的・共感的な学級づくりをベースとした全員参加の授業づくりに取り組むことで、一人ひとりの自尊感情を高め、自信をもって自分の考えを相手に伝えられる子どもを育てていきたい。 以上の取り組みからA評価とした。		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<p><b>重点施策</b></p> <p>3 将来に向けた特色ある学校づくりのための検討 (3) コミュニティ・スクール運営の促進</p> <p>① 学校運営協議会の円滑な運営のための支援 ② 地域との連携による児童生徒の活動の促進</p> <p>(教育総務課 指導班)</p>	<p>【行政評価の成果指標】</p> <p>各校の学校運営協議会の開催回数4回</p> <p>【目指すべき目標】</p> <p>各校の学校運営協議会の開催回数4回</p> <p>【実績・達成状況】</p> <p>各校の学校運営協議会の開催回数3.4回 各小学校、中学校において学習協力者、体育・文化活動指導員等による地域教育力を活用し、授業を実施した。 地域の協力を得て、各中学校において行っている、職場体験は中止。 小学校においては、玉ねぎの植え付けから収穫までを実施し、農業の体験学習を行った。地引網については、今年度は中止。8月補正で予算を確保し、コロナ禍の中、放課後等に必要な児童生徒に学習支援を行う事業も行った。</p>		<p>【行政評価の成果指標】</p> <p>各校の学校運営協議会の開催回数4回</p> <p>【目指すべき目標】</p> <p>各校の学校運営協議会の開催回数4回</p> <p>【実績・達成状況】</p> <p>各校の学校運営協議会の開催回数3.8回 各小学校、中学校において学習協力者、体育・文化活動指導員等による地域教育力を活用し、授業を実施した。 地域の協力を得て、葛川探検や生き物観察、収穫体験を行うなど、地域の魅力を直接体感できる機会を持った。 総合的な学習で、地域の一員として生徒が地域の課題を把握し、解決方法を地域に提言する学習を実施した。 コロナで保護者や地域の方の来校が制限された分、HPの内容を充実させるなど、地域への情報発信に努めた。</p>	
	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)
1,763,241	2,043,000	2,958,000	2,453,199	
成果・課題		評価・所見		
<p>【成果】</p> <p>前年度に引き続きコロナで活動が制限されたものの、できることを最大限に行えるよう工夫を凝らすなど、5校ともに着実に学校に応じた取組が行えた。また、これまでの取組を経て、学校、地域の役割が少しずつ整理できたとともに、地域学校協働活動推進員のコーディネートにより、学校と地域の連携がさらに円滑なものとなった。</p> <p>【課題】</p> <p>コロナ等の影響下においても持続可能な活動が行えるよう、引き続き、活動内容や手法を模索する必要がある。また、教職員の多忙化解消の意味も含めて、学校職員、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員の役割を整理し、関係者が皆当事者意識をもち、連携・協働できる仕組みを構築する必要がある。</p>		<p>A</p> <p>(前年度評価：A)</p> <p>各校の特色を生かした取組を行うことができている。また、コロナ禍においても、可能な範囲で地域における児童生徒の活動の促進を進めることができたことから、評価をAとした。</p> <p>学校と地域との連携強化を図るためにも、コミュニティ・スクールの取組を保護者や地域の方に情報共有し互いの信頼関係を高め、学校運営の安定性や教育内容の充実につなげていきたい。</p>		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況		
<b>重点施策</b> 6 学校教育に関する 情報発信の強化 (1) 学校ホームページや町ホームページ、 広報紙等の積極的な活 用 (教育総務課)	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし <b>【目指すべき目標】</b> 5校合計での学校ホームページア クセス回数、月平均3万回。 <b>【実績達成状況】</b> 令和2年4月より学校ホームペー ジを開設。12月時点でアクセス件 数は約16万件。令和3年7月時 点で約43万件。令和3年1月～7 月までの月平均4万件。 町広報紙等紙媒体の活用 ・7月号 学校再開・学校HP開設 ・3月号 進むICT活用教育 ・その他の月にコロナ対策等も掲載	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし <b>【目指すべき目標】</b> 5校合計での学校ホームページア クセス回数、月平均3万回。 <b>【実績達成状況】</b> 令和2年4月より学校ホームペー ジを開設。令和3年4月から令和4年3月末 までの1年間のアクセス件数は、約28 万件で月平均約2万3千件。 町広報紙等紙媒体の活用 ・7月号 小中一貫教育 ・11月号 ICT活用教育 ・その他の月にコロナ対策等も掲載	<b>【実績達成状況】</b> 令和2年4月より学校ホームペー ジを開設。令和3年4月から令和4年3月末 までの1年間のアクセス件数は、約28 万件で月平均約2万3千件。 町広報紙等紙媒体の活用 ・7月号 小中一貫教育 ・11月号 ICT活用教育 ・その他の月にコロナ対策等も掲載	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	-	-	-	-
<b>成果・課題</b> <b>【成果】</b> ホームページを活用し、児童生徒、保護者への情 報発信、学習課題のお知らせなど、有効に活用する ことができた。また、日々の学校の様子やお知らせ などを、町のフェイスブックや学校ホームページに 掲載した。学校ホームページの令和4年6月時点で 5校合計のアクセス件数は約60万件で、令和2年 4月の開設から毎月約2万3千件のアクセスがあ り、地域に開かれた学校の情報発信をすることがで きた。 <b>【課題】</b> 学校に対する関心の高さが伺える一方で、日々 の更新作業を学校の教職員が行っており、その更新 業務が過度な負担とならないよう運用を工夫してい く必要がある。	<b>評価・所見</b> <b>A</b> (前年度評価：A) ----- 学校での日々の様子や、リアルタイムな情報を 保護者、地域に随時発信できるメリットを生か し、地域に開かれた学校の情報発信をすることが できた。また、教育委員会では、フェイスブック の活用頻度を上げ、日々の学校の様子をこまめに 発信できた。学校ホームページの開設後、徐々に 掲載される情報や内容が充実してきており、安定 したアクセスがあることからA評価とした。 今後は、学校ホームページのさらなる充実を目 指し、地域に開かれた学校運営の情報発信基盤と しての安定運用につなげていく。			

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・達成状況		当年度 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 1 地域文化の向上 (1) 二宮の自然・歴史・文化に触れる機会の提供 ① 文化芸術の振興・支援 ② 多世代が集い、学習し交流拠点となる場としての生涯学習センター「ラディアン」及び図書館のあり方の検討	<b>【行政評価の成果指標】</b> 文化祭来場者数 3,000 人 ピアノマラソンコンサート 160 人 民俗芸能のつどい観覧者数 中止 <b>【目指すべき目標】</b> 町民が主体となった文化事業の展開と、文化拠点としてラディアン及び図書館の効率的な運営や施設の拡充を図る。 <b>【実績・達成状況】</b> ・第 63 回文化祭 文化祭来場者数 2,066 人 ・ピアノマラソンコンサート ※コロナ感染拡大防止のため中止 ※無観客・自由演奏の代替事業実施 ・第 46 回民俗芸能のつどい ※コロナ感染拡大防止のため中止 ・ラディアン 20 周年記念事業 ※コロナ感染拡大防止のため延期		<b>【行政評価の成果指標】</b> 文化祭来場者数 4,200 人 ピアノマラソンコンサート 160 人 民俗芸能のつどい観覧者数 350 人 <b>【目指すべき目標】</b> 町民が主体となった文化事業の展開と、文化拠点としてラディアン及び図書館の効果的な運営に取り組む。 <b>【実績・達成状況】</b> ・第 64 回文化祭 ※感染症拡大防止のため中止 ・ピアノマラソンコンサート 出演者 56 人 来場者 174 人 ・第 47 回民俗芸能のつどい ※感染症拡大防止のため中止 ・ラディアン 20 周年記念事業 4 事業のうち、2 事業(「ガラ・コンサート」「やまゆり音楽祭」)を実施	
	現計予算額(円)	決算額(円)	現計予算額(円)	決算額(円)
	771,000	340,263	508,000	247,550
<b>成果・課題</b>	<b>評価・所見</b>			
<b>【成果】</b> 感染症の影響により、令和 3 年度においても成果指標に掲げた事業のうち 2 つが中止となり、3 年ぶりに開催したピアノマラソンコンサートの出演者も、再開前の 3 分の 2 程度にとどまった。 一方で、平台遺跡や子ども作品展、さらにはワクチン集団接種実施場所の提供により認知度の向上に努めた。 <b>【課題】</b> ラディアン利用や事業開催については、コロナ禍を踏まえた実施・開催方法の模索を続ける必要がある。また、町民による文化や芸術など生涯学習活動の支援など、地域文化の向上に資する取り組みを続ける。	<b>B</b> (前年度評価：B) 昨年度に引き続き感染症対策に取り組む中で、事業の中止により町民の成果発表の場の提供が十分出来なかったことから、Bとした。 感染症の影響が長期化する中で、各種事業の中止のみならず、様々な生涯学習活動も停滞を余儀なくされている。アフターコロナを見据え、計画的・継続的な取り組みを進める必要がある。			

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 1 地域文化の向上 (2) 図書館事業の推進 ① 子育て世代と子どもたちの利用の促進 ② 図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり ③ 町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用	<b>【行政評価の成果指標】</b> 年間貸出者数(人) R 2 見込 70,000 人 <b>【目指すべき目標】</b> 感染症の影響を受けていない、平成30年度貸出者数85,394人程度への回復を当面の目標とする。 <b>【実績・達成状況】</b> 年間貸出者数(人) R 2 実績 54,338人 (目標値の77.6%) <参考> 開館日 227日 (計画287日)		<b>【行政評価の成果指標】</b> 年間貸出者数(人) R 3 見込 80,000 人 <b>【目指すべき目標】</b> 感染症の影響を受けていない、平成30年度貸出者数85,394人程度への回復を当面の目標とする。 <b>【実績・達成状況】</b> 年間貸出者数(人) R 3 実績 75,058人 (目標値の93.9%) <参考> 開館日 257日 (計画287日) 特設カウンター 28日	
	<b>現計予算額 (円)</b> 15,726,000	<b>決算額 (円)</b> 15,383,920	<b>現計予算額 (円)</b> 18,478,000	<b>決算額 (円)</b> 18,161,757
	<b>成果・課題</b>		<b>評価・所見</b>	
<b>【成果】</b> 感染症流行下において、リスク低減とサービス向上を両立させるべく次のように取り組んだ。 ① 親子向け事業再開にあたっては安心して参加いただけるよう事前申込制を導入した。また、小学校2年生見学や二宮高校生の職場体験受入れの本格再開にあたり内容を全面的に見直し、子どもたちに図書館をより身近に感じてもらうことができた。 ② 緊急事態宣言に伴う施設休館の際には、図書館入口に特設カウンターを設け、求められた資料をその場で取りに行くことで利用者の読書ニーズに応えた。 ③ 1年延期した図書館20周年講演会は、講師も含めて全員オンラインで実施し参加者から好評を博した。 <b>【課題】</b> アフターコロナを見据える中で、利用の少ない年齢層である子ども達の図書館利用の促進に取り組む必要がある。		<b>A</b> (前年度評価：B) ----- 生涯学習・スポーツ班と連携した「平台遺跡展示」や「にのみや子ども作品展」の館内開催や貸出冊数変更(5冊→8冊)の試行など、新たな利用者の獲得や利用増を図る施策を実施した。貸出利用者は目標には達成しなかったが、図書館機能の充実としていくつかの活動の成果があったため、評価はAとした。 今後は、「本のところに人が行く」という発想の他に「人のところに本を持っていく」という発想を取り込んで、子どもたちが本と接する機会が増えるようにする。		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 1 地域文化の向上 (3) 社会教育事業の推進 ①コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進	<b>【行政評価の成果指標】</b> 放課後子ども教室の登録率 16% <b>【目指すべき目標】</b> 地域住民や関係団体が主体となった児童の安心・安全な居場所づくりを行うことで、将来地域を担う子どもの育成を図る。 <b>【実績・達成状況】</b> 二宮小 登録者 84 人 在校生 655 人 12.8% 一色小 登録者 69 人 在校生 180 人 38.3% 山西小 登録者 81 人 在校生 361 人 22.4%		<b>【行政評価の成果指標】</b> 放課後子ども教室の登録率 16.5% <b>【目指すべき目標】</b> 地域住民や関係団体が主体となった児童の安心・安全な居場所づくりを行うことで、将来地域を担う子どもの育成を図る。 <b>【実績・達成状況】</b> 二宮小 登録者 163 人 在校生 662 人 24.6% 一色小 登録者 46 人 在校生 167 人 27.5% 山西小 登録者 124 人 在校生 343 人 36.2%	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	911,000	553,565	1,386,000	788,492
成果・課題			評価・所見	
<b>【成果】</b> 小学校3校いずれもが成果指標を上回った。この要因としては、インターネットサービス『マチコミ』による利用申し込みや、地域学校協働活動推進員を中心に行われている特色ある取り組みが浸透したことによるものと考えられる。  <b>【課題】</b> 令和3年度については、感染症流行以前に設定していた9月(2学期)に開始する予定だったが、緊急事態宣言により開始が10月になり、また、1月下旬の、まん延防止等重点措置の実施により、一部の事業中止を余儀なくされた。 次年度以降については、感染症の動向を注視しつつ、地域学校協働活動推進員や学校とともに、回数や日程、参加しやすい環境づくりに取り組む。			<b>A</b> (前年度評価：B) ----- いずれの学校においても成果目標を達成したため、評価をAとした。 一方で、事業の浸透に伴い、さらに参加者が増える事が予想される中で、人数が多くなる事によって生じる課題や、持続可能な取り組み・開催手法について検討や調整を進める必要がある。 引き続き、コミュニティ・スクールの枠組みの中で、地域や学校と連携して事業に取り組む。	

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 2 社会教育施設の適切な運営 (1)生涯学習センター「ラディアン」の適切な管理運営 ①ラディアンの長寿命化計画の推進 (2)体育施設の適切な管理運営 ①体育施設の現況調査と今後の維持管理の検討	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> 専門家の意見を取り入れ策定した長寿命化に基づき改修を進め、施設を安全かつ効率・効果的に維持していく。  <b>【実績達成状況】</b> 長寿命化計画が策定され、今後ラディアンを今後 60 年間活用するための予防保全型の維持管理に必要な金額を算出できた。		<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> 専門家の意見を取り入れ策定した長寿命化に基づき改修を進め、施設を安全かつ効率・効果的に維持していく。  <b>【実績達成状況】</b>	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	87,137,000	85,361,263	89,088,000	87,931,438
<b>成果・課題</b>		<b>評価・所見</b>		
<b>【成果】</b> 生涯学習センター「ラディアン」長寿命化計画の推進にあたっては、特定天井等対策の基本設計を行い、大規模改修への準備を進めることができた。 体育施設においては、専門家による現況調査によって施設設備の状況と改修や修繕の優先順位を把握することができた。 <b>【課題】</b> 生涯学習センター「ラディアン」については、今後実施する大規模な改修工事に向け、長寿命化計画の実施設計、特定天井基本設計に基づいた実施設計や、機能向上を目指すための諸設計を整理・検討を進める必要がある。 体育施設については、計画的な改修実施とあわせて、優先度の高い修繕については速やかに実施する必要がある。		<b>A</b>  (前年度評価：A) 各施設の現況や改修・修繕の優先順位を把握し、計画的な管理や今後の方向性の整理が進んだことから、評価をAとした。 施設の維持管理および施設自体の在り方については、持続的な公共サービスの観点も踏まえ、関係各課とも連携して検討していく。		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 3 社会教育に関する情報発信の強化 (1) 二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用(生涯学習課)	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> 町で所有する情報発信ツールを積極的に活用し各種事業等の情報発信を推進する。  <b>【実績・達成状況】</b> 電子媒体の活用 ・ホームページの活用 ・町フェイスブックの活用 ・図書館ツイッターの活用 ・ラディアン催し物のお知らせ 広報紙等紙媒体の活用 ・図書館だよりの発行 ・広報紙掲載 ・身近な余暇ガイドの更新		<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> 町で所有する情報発信ツールを積極的に活用し各種事業等の情報発信を推進する。  <b>【実績・達成状況】</b> 電子媒体の活用 ・ホームページの活用 ・町フェイスブックの活用 ・図書館ツイッターの活用 ・ラディアン催し物のお知らせ 広報紙等紙媒体の活用 ・図書館だよりの発行 ・広報紙掲載 ・身近な余暇ガイドの更新 報道機関への情報提供 ・記者発表の活用	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	-	-	-	-
<b>成果・課題</b>	<b>評価・所見</b>			
<b>【成果】</b> ホームページや広報紙を通じ、随時各事業や施設案内等の情報発信を行った。 令和3年度においては、記者発表を含め報道機関への情報提供を行い、地元誌に4回、地元ケーブルテレビに2回事業が取り上げられ、町民や近隣地域住民へのPRに繋がった。	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <div style="text-align: right;">(前年度評価：A)</div> これまでの取り組みに加え、報道機関への情報提供も行き、より広く事業を周知できたため、評価をAとした。 引き続き、電子媒体や紙媒体など、それぞれの特性を活かした情報発信に取り組む。			

## 第3章 外部評価(意見)

評価委員：守屋 保子

評価（意見）内容

### 第1章 教育委員会の活動状況について

「教育委員会の実施状況」では、定例会において開催された議案38件が審議され、会議録より円滑に運営されていて、A評価は妥当と感じます。「学校訪問等の活動」では、町内小中学校を訪問し、給食試食や授業参観、学校関係者とも意見交換をされ、学校の実態を把握されていることもA評価に値すると感じます。

### 第2章 教育委員会における主要事業について

#### 1 学校教育の重点施策について

「2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備」の「(1) 支援が必要な児童生徒への対応」では、前年度に比べ、今年度は相談件数が50件ほど増え、不登校児童生徒の増加や家庭に関する相談が目にとまります。更なる相談体制や支援体制の充実を期待します。

「(2) 教職員の働き方改革の推進」では、目指す年間時間外勤務時間360時間を大幅に超えている実情があり、改善に向け一層の努力をお願いします。

「3 将来に向けた特色ある学校づくりのための推進」の「(1) 小中一貫教育の推進」では、コロナ前より色々議論されていた二宮町小中一貫教育推進計画が策定され、施設一体型への方向性が示されたことからA評価は妥当だと思います。

「1 地域文化の向上」の「(2) 図書館事業の推進」では、年間貸出者数前年度より2万人ほど増えています。貸出冊数5～8冊の試行が大きな関わりをもっていると思います。この評価もA評価に値します。

#### 2 社会教育の重点施策について

「(3) 社会教育事業の推進」では、学校と地域を取り巻く課題は多様化しています。学校と地域住民と手を取り合い児童生徒の安心できる居場所づくりを連携・協働のもと、児童生徒の成長を支えていく必要があると感じます。この項目も前年度はB評価でしたが、今年度はA評価であることは妥当だと思います。

評価委員：小林 徳博

評価（意見）内容

## 第1章 教育委員会の活動状況について

教育委員会の活動状況は、「教育委員会議の実施状況」及び「学校訪問等の活動」の2項目について、共に「A」評価としており、妥当な評価だと思います。次の2点について記述します。

### （1）教育委員会議の実施状況について

毎月1回の定例会では、議案38件の審議や教育長報告、各所管課からの実績報告、事業の進捗状況等について適切に審議されています。

特に、二宮町小中一貫教育校設置計画（案）の策定では、教育委員の皆さんと事務局の皆さんが定例会や勉強会を積み重ねられ、二宮町の「将来に向けた特色ある学校づくり」について議論を交わし具体的な方向性を示されたことを高く評価します。

また、新型コロナウイルス緊急事態宣言発出時には、児童生徒に貸与している端末と家庭のWi-Fiとの接続を確認して、オンライン授業や情報発信などスピード感ある対応に驚かされました。

### （2）学校訪問等の活動について

学校訪問については、令和2年度と同様な課題が挙げられていますが、昨年度の反省をもとに令和3年度はどのような工夫をされたのか気になりました。短い時間の中で実施するのは大変ですが工夫改善をお願いします。

また、コロナ禍で各種研修会が書面やオンライン協議会となりましたが、各地区との共通課題や二宮町の現状を確認することができたことは、これからの二宮町の教育に反映されるものと確信します。

## 第2章 教育委員会における主要事業について

### 1 教育総務課の主要事業について

教育総務課の主要事業は、重点施策8項目のうちA評価5項目、B評価3項目となっています。特に、小中一貫教育の推進は、昨年度B評価だったものがA評価と着実に進んだことが伺えました。妥当な評価であると思います。重点施策から主な細目7点を記載します。

#### （1）言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進について

二宮町の小中学校5校が昨年度の成果をもとに共通のテーマ、共通のスーパーバイザーの下で校内研究を積み重ね成果を上げられていることは、小中一貫教育の土台となるもので高く評価するものです。

#### （2）英語教育の充実について

ワーキンググループや英語研修会を通して小中学校の教員がともに「子どもたちが話したくなる・聞きたくなる外国語」の指導法について研究をされ成果を上げていることを高く評価します。

英語検定では、3級取得率が昨年度比で7ポイント向上したことはこれまでの英語教育の成果だと思います。取得率も大切ですが英検に挑戦する生徒が増えることも大切ではないで

しょうか。英語検定の奨励金が3級以上に改定されたことが追い風になることを期待します。

また、二宮町では他の市町村に先駆けて、英語科のデジタル教科書を全校に配布したと伺いました。児童生徒の興味関心が一層深まり英語好きな子どもたちが増えることを併せて期待します。

### (3) ICT環境を活用した授業の充実について

児童生徒1人1台の環境が整い、緊急事態宣言下の帰宅後のオンライン授業実施、修学旅行ができなかった3年生が世界6か国に在住の方々とのライブ中継、国内外の様々な業種の方とオンラインで結んだ職業体験、支援級のオンライン交流会等々、整備後間もない中で先進的な実践がされていることを高く評価します。

今後は、教師ひとり一人がICT環境を活用した授業を行うために参考となる実践事例を積み重ねて提供していただくことをお願いいたします。

### (4) 支援が必要な児童生徒への対応の充実について

コロナ禍の影響なのかもしれませんが中学校の不登校の増加が気になります。そのような中で、登校不安で欠席している児童生徒と担任とが放課後オンラインで交流したり、家庭訪問等の回数を増やしたりするなどきめ細かな対応がされていることは評価できます。

複雑化した社会の中で登校に不安を持つ児童生徒がこれからも増えていくことが予想されます。教育相談体制や支援体制の充実と専門機関との連携により児童生徒及び保護者の悩みに寄り添った支援ができるようお願いいたします。

### (5) 教職員の働き方改革の推進について

教員の働き方改革が叫ばれる中、中学校教職員の時間外勤務が前年度より184時間/年も増えていることや100時間/月を超える教員がいることに驚きました。緊急の課題として、教師が本来の業務に専念できるよう中学校部活動の在り方等や業務の精選等を検討するとともに、国や県に部活動指導員・各種支援員の増員や教職員定数改善を強く要望していただきたいと思えます。

### (6) 小中一貫教育の推進について

二宮町小中一貫教育校設置計画(案)の策定に向けた成果は前述のとおりです。「小中一貫カリキュラム研究の推進」や「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」等の研究を通して、各学校が数多くの授業研究等を行うなど、一貫教育の土台づくりを着実に進められていることを高く評価します。

### (7) 学校ホームページや町ホームページ、広報紙等の積極的な活用について

各学校のホームページを開いてみますと、児童生徒の学校生活の様子や各種の情報をリアルタイムで見ることができます。学校ホームページが積極的に活用されていることを評価します。

しかし、これだけの情報を発信するためには更新作業に多くの時間が費やされているのではないのでしょうか。教員の働き方改革の観点からも更新作業の方法や内容及び発信回数等の工夫改善をお願いいたします。

## 2 生涯学習課の主要事業について

生涯学習課の主要事業は、重要施策5項目のうちA評価4項目、B評価1項目となっています。特に、図書館事業の推進とコミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進が昨年度B評価からA評価と改善されていることに努力の跡が伺えます。妥当な評価であると思います。重点施策から主な細目4点を記載します。

### (1) 二宮の自然・歴史・文化に触れる機会の提供について

令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大により、文化祭と民俗芸能のつどいが中止となりましたが、3年度ぶりの「ピアノマラソンコンサート」やラディアン20周年記念事業の「ガラ・コンサート」「やまゆり音楽祭」が感染対策を十分講じる中で開催できたことは高く評価します。

コロナ禍で4事業が中止となり、町民の成果発表の場を提供できなかったことでB評価としたのですが、前述の4事業を工夫しながら実施したことはA評価に値するものです。緊急事態時の評価基準や指標について柔軟な対応ができればと感じます。

### (2) 図書館事業の推進について

コロナ禍において、親子向け事業の事前申込制の導入、緊急事態宣言休館時の特設カウンター設置、図書館20周年講演会のオンラインでの実施など様々な工夫をされリスクの低減とサービスの向上に努めたことを高く評価します。

今後も、数値目標も大切ですが、「図書館に行くワクワクする」「本とふれあうのが楽しい」と思える図書館にしていきたいと思います。二宮町の誇りである図書館が町民の皆さんの身近な存在になることを期待します。

### (3) コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の促進について

小中5校に地域学校協働活動推進委員が委嘱され、地域と学校をつなぐコーディネーターとしての役割が期待されます。各学校では、コミュニティ・スクールの取り組みとして地域の皆様との協働による様々な活動が実施されています。協働活動推進委員の役割が最大限生かされるようコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を強く願うものです。

### (4) 二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用について

ホームページ、町フェイスブック、広報紙は町民が町の情報を得る重要な手段です。令和3年度は、地元紙に4回、地元ケーブルテレビに2回事業が取り上げられたことは町民として嬉しく思います。今後も、ホームページや広報紙はもとより、地元紙・ケーブルテレビ等を通して適時性のある情報を積極的に発信していただくことを望みます。

## 参 考 資 料

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

#### 第二十六条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

#### 二宮町教育委員会点検及び評価実施規則

公布 平成 26 年 7 月 25 日

改正 平成 27 年 3 月 27 日

（趣旨）

第 1 条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、二宮町教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施することに関し必要な事項を定める。

（点検及び評価の実施）

第 2 条 点検及び評価は、実施年度の前年度における教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、行うものとする。

（点検及び評価の対象）

第 3 条 点検及び評価の対象は、教育委員会の活動及び二宮町教育委員会基本方針等に基づいて教育委員会が実施する施策等とする。

（評価委員）

第 4 条 教育委員会は、点検及び評価を透明性及び客観性を持った適正なものとするため、二宮町教育委員会評価委員（以下「評価委員」という。）を置く。

2 評価委員は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 評価委員は 2 名とし、教育に関して公正な意見を述べる事が期待できる者の中から、教育委員会が委嘱するものとする。

（評価委員の任期）

第 5 条 評価委員の任期は 2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 評価委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（点検及び評価の手順）

第 6 条 点検及び評価を実施するにあたっては、教育委員会各課がその所管する第

3 条に掲げる事項について行うものとする。

2 教育委員会は、前項の点検を基に、評価委員の意見を聴いたうえで、教育委員会議に諮るものとする。

3 教育委員会は、評価委員の意見も含めた二宮町教育委員会点検及び評価報告書を別に定める要領により作成し、二宮町及び二宮町議会へ提出するとともに、町民に公表するものとする。

(点検及び評価結果の活用)

第 7 条 点検及び評価の結果は、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用するものとする。

(その他)

第 8 条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

#### 附 則

この規則は、公布の日から施行する。

## 二宮町教育委員会点検及び評価実施要領

公表 平成26年8月29日

(趣旨)

第1条 この要領は、二宮町教育委員会点検及び評価実施規則（以下「実施規則」という。）に基づいて実施する二宮町教育委員会点検及び評価の具体的な方法について必要な事項を定める。

(評価事項)

第2条 評価事項は、次に掲げる項目とする。

- (1) 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況
- (2) 教育委員会が管理及び執行している事業並びに教育長に委任している事務のうち、重点施策及び主たる取り組み
- (3) その他、教育委員会が特に記載するもの

(評価の観点)

第3条 評価の観点は、教育委員会の行う活動として適正か、目標とする効果が得られているか、コスト意識を持って取り組んでいるかを主たる観点とし、総合的に評価する。

(評価の基準)

第4条 点検評価においては、評価の観点を元に、評価対象について、次の区分により評価する。

評価	評価基準
A	目標とする成果が得られた。 または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B	おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C	取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D	取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

(報告書の作成要領)

第5条 実施規則第6条第3項に基づき作成する二宮町教育委員会点検及び評価報告書（以下「点検及び評価報告書」という。）は、教育委員会の活動状況点検評価シート（別紙1）及び教育委員会事務局の活動状況点検評価シート（別紙2）により作成するとともに、次に掲げる項目について掲載するものとする。

- (1) 点検評価対象年度の教育委員会基本方針
- (2) 点検評価対象年度末時点の教育委員の一覧
- (3) 第2条で定める評価事項に関する項目
- (4) 評価委員からの点検及び評価意見

(公表)

第6条 点検評価の町民への公表については、点検及び評価報告書を公告するとともに町ホームページに掲載することにより行う。

(その他)

第7条 この要領の実施にあたり、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
成果・課題	評価・所見	
	-----	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
	現計予算額	決算額	現計予算額	決算額
成果・課題	評価・所見			
	-----			



令和4年度 二宮町教育委員会点検及び評価報告書

(令和3年度事業分)

【 発行 令和4年9月 】

発行者 二宮町教育委員会 編集 教育部教育総務課  
〒259-0196 神奈川県中郡二宮町二宮 961 ℡0463-75-9261